

防火協会だより

編集・発行 津市防火協会
津市久居明神町2276番地
津市消防本部庁舎内
電話・FAX 059-256-4222

火災予防運動に各種イベント開催

防火救命研修や消防キャンペーンなど



▲救命講習①や屋内消火栓訓練②に取り組む参加者

秋の運動: 11月9日～15日
春の運動: 3月1日～7日

▲サンヒルズ安濃で開催した防火救命研修での消火器取扱い訓練

防火救命研修に57人参加

秋の火災予防運動の一環として、令和元年11月8日(金)に、防火救命研修をサンヒルズ安濃で開催し、27事業所から57人が参加しました。午前の部は、消火器・屋内消火栓の取扱い訓練、119番通報訓練など実技を行いました。午後は普通救命講習を行い、心肺蘇生法や、AED(自動体外式除細動器)取扱いに終始熱心に取り組んでいました。受講者には修了証が手渡され、参加者は「貴重な経験でした」と語っていました。

高虎楽座で防火をPR

令和元年11月2日(土)に、津フェニックス通りで開催の高虎楽座に消防コーナーを出展し、来場の皆さんに広く防火を呼びかけ、住宅用火災警報器の設置をPRしました。当協会からは、ミニタオル・文具・防災グッズなどを配布したほか、津市消防音楽隊のステージでは、ちびっ子に人気の「パプリカ」、北島三郎の「まつり」が演奏され、

皆さんから拍手があがっていました。



▲ちびっ子たちで賑わう消防コーナー

● バス車外広告を一新

春・秋の火災予防運動を前に、会員事業所に掲示していただく防火ポスターを配付しました。また毎年、運動の1か月前から三重交通の路線バス10台に掲げる車外広告幕を、秋の運動から一新しました。



▲デザインを一新したバス車外広告幕

後期の防火管理資格取得等講習会 危険物取扱者試験予備講習会を開催



▲ 10月の防火管理資格取得等講習会



▲ 9月の危険物取扱者試験予備講習会

▲ 10月の防災管理者
新規講習

当協会では令和元年10月8日(火)・9日(水)、防火管理資格取得等講習会を県総合文化センター生涯学習センター大研修室で開催し、89人が受講しました。また、10月10日(木)に防災管理者新規講習を消防本部で行い、13人が受講しました。計102人の受講者の方は、防火・防災管理の業務を行う上で必要な知識、技能を習得され、今後は各職場において防火・防災管理業務の中核として活躍されます。

受講者の内、防火協会会員22人には、1人につき2,500円、計55,000円を助成しました。

また、令和元年9月27日(金)に、危険物取扱者試験予備講習会を同センター文化会館大会議室で開催し、37人が受講しました。受講者の内、防火協会会員11人には、1人につき3,000円、計33,000円を助成しました。

令和2年1月29日(水)には、自衛消防業務再講習を開催しました。大規模施設には自衛消防組織の設置が義務化され、その組織の統括や活動の班長にあたる人は、自衛消防業務新規講習を受講するとともに、5年以内の再講習が必要となっています。今回の再講習には5事業所10人が受講しました。講義のほか、大規模事業所を想定しての図上訓練を行い、受講者は次々に示される事態の対応等に取組んでいました。



▲ 1月の自衛消防業務再講習

住宅用火災警報器を消防車やバス車内でPR

当協会では、住宅用火災警報器啓発のため、マグネットシートを30枚購入し、消防車に貼り付けています。また、春の火災予防運動の一環として車内ポスターを作成し、路線バス40台に4週間掲出しました。



▲ 消防車に貼り付ける
マグネットシート



▲ バス車内に掲出した
ポスター

三重県危険物安全協会
設立30周年記念大会

**令和2年度
三重県危険物安全大会**

令和2年6月11日(木)
13時～15時30分
三重県大権センター多目的ホール
(津市一身田大古館603-1)

★記念講演:講師 武田 美保
(オリンピック銀メダリスト)予定
地元開催ですので、会員皆様のお越しをお待ちしています。*詳しくは、5月中旬にご案内します。

火災や台風災害から命を守る対策を

● 避難経路の確保も重要

令和元年7月18日に発生した京都アニメーション制作会社の放火事件は、多くの命が犠牲となり過去に例を見ない重大事件となりました。突然の不審者侵入による放火は、防ぎきれない現実を見せつけられ、建物の防火対策の難しさが浮き彫りになりました。

事業所におかれては、出火や放火の防止を再認識するとともに、万一出火した時の初期消火方法の確認や、階段部分の防火戸が適正な状態にあるか、どのような経路で逃げるかなどの避難経路の確認等、今できることから対策を講じておきましょう。

携行缶でガソリン購入、規制強化

京都アニメーション制作会社の放火事件では、ガソリンスタンドでガソリンを携行缶で購入し、それを持ち込んで撒き散らして火をつけたため、爆発的に火災が拡大したとみられます。

これらのことから、「危険物の規制に関する規則」が改正され令和2年2月1日から施行されました。

【改正内容】

ガソリンスタンド側は、ガソリンを携行缶で購入される方に対して、

①顧客の本人確認
(身分証の確認)

②使用目的の確認

③販売記録の作成

が義務付けられました。

【注意事項】

○ガソリンは、灯

油用ポリ容器に入れることはできません。ガソリン容器は、消防法令に適合した金属製のものを使用してください。

○セルフスタンドにおいても、ガソリンを容器に注油する行為は、従業員以外はできません。

○ガソリン携行缶に貼られている注意事項に留意してください。



● 台風・豪雨シーズンに備えて

一昨年の平成30年は、7月の西日本豪雨で死者224人、行方不明8人という甚大な被害となり、その後の台風でも全国で被害が発生しました。

令和元年も、豪雨・台風により例年にない特異な被害が続出しました。8月28日からの九州北部を中心とした局地的豪雨では、佐賀で工業用油が大量に流出し、被害が拡大しました。



▲佐賀の油流出の処理状況
(消防庁ホームページから)

9月9日、台風15号が千葉市付近に上陸し、暴風により千葉県では屋根瓦が損壊したほか、電柱の倒壊などによって長期間にわたる停電に陥りました。

さらに10月12日、超大型の台風19号は、強い勢力を保ち伊豆半島に上陸し、関東、甲信、東北といった広範囲に甚大な被害を及ぼしました。長野の千曲川、宮城の阿武隈川など多数の河川が氾濫し、濁流などにより約90の方が亡くられました。

その後、10月25日から低気圧と台風21号の影響で、千葉と東北で記録的な大雨となり、10人以上の方が命を落とされました。

一方、津市では平成30年の7月末から9月にかけて4つの台風が接近・直撃し、建物等に被害が出ました。令和元年は幸いなことに、台風等の自然災害による大きな被害はありませんでした。

近年、津市では河川の大規模氾濫はありませんが、平成27年8月25日の台風15号では時間雨量65ミリ(夜間の5時間で206ミリ)、平成16年9月29日の台風21号では、時間雨量98ミリ、日雨量427ミリを記録し、各所で浸水被害が出ました。これらの浸水は、降った雨を排水しきれずに水位が増す内水氾濫という現象で、豪雨時に起こりうる災害です。



▲台風19号の救助状況
(消防庁ホームページから)

令和元年 津市消防 火災・救急・救助概況

令和元年(1月1日～12月31日)中の火災・救急・救助の概況は次のとおりです。

火災



住宅火災、 わずかに減少

令和元年中に市内で発生した火災は115件で、前年に比べ20件減少しました。建物火災は54件で前年と同数で、そのうち住宅火災は27件(前年比6件減)でした。

また火災による死者は4人(前年比1人減)で、そのうち住宅火災による死者は3人で、前年と同数でした。

出火原因については、たき火22件が最も多く、次いで放火の疑い17件、たばこ・コンロ各8件と続いています。

住宅火災では、たばこが最も多く、次いでコンロ・配線器具と続いています。

たき火からの延焼や、寝たばこ、コンロの消し忘れ等を用意喚起し、住宅火災での逃げ遅れによる死傷者を防ぐために、住宅用火災警報器の普及啓発に努めます。

注) ▲は減少を示します。令和元年中の数値は速報値です。

区 分		令和元年	平成30年	増減
火災件数(件)		115	135	▲20
火災種別(件)	建物火災	54	54	0
	うち、住宅火災	27	33	▲6
	林野火災	6	5	1
	車両火災	10	11	▲1
	その他火災	45	65	▲20
死者(人)		4	5	▲1
うち、住宅火災(人)		3	3	0
負傷者(人)		10	11	▲1

救急



熱中症患者の 搬送が半減

過去10年を見ると全出動件数が増加傾向にある中、令和元年中の市内における救急出動件数は15,899件で、前年に比べ546件減少しました。熱中症による搬送が216件と前年に比べ半減したこと、適正利用の広報効果の結果ともいえます。

事故種別でみると、例年同様急病が10,102件と最も多く、次いで一般負傷2,589件、交通1,161件の順となりました。

消防本部としても救急搬送体制の充実・強化に取り組むとともに、救急車の適正な利用を広く呼びかけていきます。

区 分		令和元年	平成30年	増減
出動件数(件)		15,899	16,445	▲546
搬送件数(件)		14,482	14,934	▲452
搬送人員(人)		14,607	15,078	▲471
種別(件)	急病	10,102	10,430	▲328
	一般負傷	2,589	2,537	52
	交通	1,161	1,325	▲164

区 分		令和元年	平成30年	増減
出動件数(件)		187	138	49
活動件数(件)		112	93	19
救助人員(人)		116	96	20
種別(件)	交通事故	82	71	11
	建物等による事故	53	30	23
	水難事故	17	8	9

救助



高齢者宅への 出動件数大幅増

令和元年中の市内における救助出動件数は187件で、前年に比べ49件増加しました。

事故種別でみると、最も多かったのが交通事故の82件で、前年に比べ11件増加しました。次いで建物等による事故が53件で、前年に比べ23件増加しました。その多くは高齢者が建物内に居ても外からの呼びかけに応答しないという内容でした。また、水難事故は17件で、前年の約2倍になりました。

◎令和2年度 前期

危険物取扱者試験予備講習会

講習日時: 令和2年5月9日(金)
9時00分～16時45分

講習会場: 県総合文化センター
文化会館大会議室

定員: 先着36人
受講料: 会員 4,000円

(一般 7,000円)

※テキスト代を含みます。

申込期間: 令和2年4月9日(木)
～20日(月)

◎令和2年度 前期防火管理資格取得等講習会

・甲種新規 ①令和2年6月16日(火)・17日(水)9時30分～15時30分
②令和2年7月21日(火)・22日(水)9時30分～15時30分

・乙種 ①令和2年6月16日(火)9時30分～16時00分
②令和2年7月21日(火)9時30分～16時00分

・甲種再講習及び防災再講習 令和2年6月5日(月)13時30分～16時30分
講習会場 甲種新規・乙種・ツツヒライグ みえ2階 大研修室

甲種再・防災再: 久居総合福祉会館3階 レクリエーションホール

受講料 甲種新規・乙種: 会員 1,500円(一般 4,000円) ※テキスト代を含みます。

甲種再・防災再: 会員 1,000円(一般 3,000円)

※申込期間等の詳細は別途ご案内します。

※防火管理講習の後期日程は令和2年10月8日(木)・9日(金)の予定です。防災新規及び自衛消防業務再講習の日程は未定です。